

セルフモニタリング報告書(令和5年度分)

令和6年4月30日

施設名 苫小牧市錦大沼公園
 指定管理者名 公益社団法人 苫小牧市シルバー人材センター
 所管課名 都市建設部 緑地公園課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画に基づき適切に行いました。 コロナウイルス感染症防止のために、予防対策を実施し、管理運営に努めました。	㉠・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナウイルス感染対策として、来園者が手で触れる部分を消毒し感染防止に努めました。 昨年に引き続きワカサギの卵（400万粒）を放流いたしました。 来園者数は目標を達成することが出来ませんでした。	A・㉡・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	10事業を計画し、全て実施いたしました。また、花ショウブの開花中に開放時間を延長し見学者に大変好評でした。	㉠・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	近隣の幼稚園児と一緒に花壇整備を行いました。	㉠・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケート調査の結果から満足が得られている。今後もより一層満足が得られるように努めます。	㉠・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	意見箱を設置し必要な情報の把握に努めております。 また、試験的にデジタル意見箱（二次元コード）を2月1日より設置いたしました。	㉠・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	寄せられたご意見・ご要望については、改善が可能なものから順次対応してまいります。	㉠・B・C・D・E

3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	効率的な管理運営に努め、縮減した執行となりました。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託選定時に決定した事業者と協議しながら、適切に取組んでおります。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
収入増加のための取組はされているか。	実施しました。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	外部講師による接遇講習会や技能講習（新人）を実施しております。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	草刈りについては安全衛生教育の受講を義務付けております。 その他についても色々な場面で話し合いを行いながら対応いたします。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正な配置及び管理体制としております。	Ⓐ・不 適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	施設の条例・施行規則等により、利用者の平等な利用となるよう対応しております。	Ⓐ・不 適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	個人情報保護の観点から徹底した管理をしております。	Ⓐ・不 適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	（公社）苫小牧市シルバー人材センター財務・事務規程に基づき、適切に処理しております。	Ⓐ・不 適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	日常点検・定期点検により、適正な保守に努めております。	Ⓐ・不 適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	重要書類はセンター事務所の鍵の掛かるキャビネットで施錠管理しております。 また備品については適時チェックしております。	Ⓐ・不 適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令などを遵守し、適正に管理しております。	Ⓐ・不 適
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員及び就業会員は全員地元雇用等であり、その他についても地域貢献出来るよう努めております。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価(全体を通して)

- ① 公園の目的である、市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを踏まえ、指定管理者として研修を重ね適正な管理と市民に信頼されるよう努めてまいりました。
- また、コロナウイルス感染症は深刻な状況にあり、来園者の感染予防対策として、来園者が手で触る部分の消毒を行いました。
- ② 自主事業は 10 事業を計画、近年ワカサギの釣果が減少したことから、昨年に引き続きワカサギの卵(400 万粒)を放流いたしました。
- 花ショウブ week については、花ショウブ開花時期に合わせ来園者が分散出来るよう開放時間を延長し来園者到大変好評でありました。
- 冬期のワカサギ釣りは 33 日間実施することが出来ました。「ワカサギ釣りサポート事業」や「ちびっ子ワカサギ釣りチャレンジ」、「錦大沼ワカサギ釣名人 2024」を実施いたしました。
- また、「ドローンを使用した公園の PR」は、配信後の PR 効果が出現しており、地道に来園者の増加に繋がったものと考えております。
- ③ 利用者アンケート調査では(「満足・やや満足」)の満足度が 92.14%となる高い評価を頂きました。今後もデジタル意見箱(二次元コード)を活用し丁寧に対応してまいります。
- ④ 来園者ニーズに応えながら効率的な管理運営と経費の縮減にスタッフ全員で取り組み、コロナウイルス感染予防ガイドラインを遵守するとともに、来園者が楽しく安全に利用出来るよう努めてまいります。
- ⑤ 入園者数については、合計で 50,000 人の目標に対し、48,425 人と目標を下回ることとなりました。